

長浜水道企業団郵便入札実施要領

(趣旨)

第1条 この要領は、長浜水道企業団契約規程(平成22年上水道告示第12号。以下「規程」という。)第16条第2項の規定に基づき、郵便による入札(以下「郵便入札」という。)の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(対象)

第2条 郵便入札の対象は、予定価格が500万円未満の入札で、入札執行者が選定したものとする。

2 前項の規定にかかわらず、新型インフルエンザ等の感染が拡大している場合において、感染防止の観点から来庁者の制限等を行っている場合は、終息までの間、郵便入札とすることができる。

(公表)

第3条 企業長は、前項の規定により郵便入札を行う場合にあっては、長浜水道企業団建設工事に係る発注の見通しならびに入札および契約の過程ならびに契約の内容に関する事項の公表要領(平成13年上水道告示第11号)の規定に基づき公表する。

(設計図書の閲覧等)

第4条 郵便入札に係る設計図書の閲覧等については、一般競争入札および指名競争入札の例による。

(入札回数)

第5条 郵便入札による入札の回数は、1回とする。ただし、第2条第2項の規定により郵便入札とする場合は、再度の入札を行うことができる。

(入札書等の郵送方法)

第6条 郵便入札の参加者は、入札書および積算内訳書を書留郵便で入札書の到達期限までに到達するよう郵送しなければならない。

2 前項の規定による郵送には二重封筒を用い、宛名を「長浜水道企業団総務課」とし、「契約番号」、「件名」、「入札者名」および「入札書在中」と記載しなければならない。

3 入札書の到達後は、辞退することができない。

(入札書の保管等)

第7条 入札執行者は、前条の規定による郵便物が到達したときは、開札日時まで総務課において厳重に保管するものとする。

2 前項の郵便物は、差し替えをすることができない。

(無効の入札)

第8条 次の各号のいずれかに該当する入札は、無効とする。

(1) 規程第18条に定める場合

(2) 直接持参、積算内訳書等の未同封など、第6条に規定する郵送方法によらない入札

(3) 入札書の到達期限を過ぎて到達した入札(第11条の規定により入札を延期した場合を除く。)

(開札の立会)

第9条 開札を行うときは、当該入札事務に関係のない職員を立ち合わせるものとする。

2 入札者またはその代理人は、開札時に立ち会うことができる。

(開札)

第10条 開札は、指定した開札日時に行うものとする。

- 2 開札の結果、最低の金額で入札をした者が2人以上あるときは、日時を指定しクジを行う。ただし、水道管路工事および舗装工事その他入札執行者が必要と認める場合において、提案型入札を行う場合にあっては、最低の金額で入札を行った者の金額が、社会通念上企業努力の範囲で品質を確保した上で、施工可能である場合にクジを行う。
- 3 前項の場合において、対象者が指定の日時に来庁できない場合および対象者に連絡が取れない場合は、企業団において抽選を実施し、落札者を決定する。
- 4 入札執行者は、物品購入にかかる入札に限り、落札となるべき同価格の入札をした者が2人以上ある場合において、当該同価格の入札をした者を指名し再度入札を行うことができる。

(入札の取りやめ等)

第11条 入札執行者は、郵便入札において、郵便事情等により事故が発生した場合または不正な行為等が判明した場合で必要があると認めるときは、入札の執行を延期し、または取りやめることができる。

(入札結果の通知)

第12条 入札執行者は、郵便入札により落札者を決定した場合は、すみやかに当該落札者に通知するとともに、入札結果を水道事業情報コーナーにおいて閲覧に供するものとする。

(委任)

第13条 この要領に定めるもののほか、この要領の実施に関し必要な事項は、企業長が別に定める。

<封筒記入例>



※角2封筒または長3封筒を使用すること。